

定期サロンコンサート〈クライネ・モーツァルト〉第96回例会

# モーツァルト室内管弦楽団 第189回定期演奏会



2019. 7/4 【木】 7:00pm  
兵庫県立芸術文化センター 小ホール

主催◆NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

お問合せ◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-507 e-mail:artists@gol.com

\*本公演は世界の子どもたちの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、ロビーにて募金活動を行っています。



モーツァルト室内管弦楽団 第189回定期演奏会  
／定期サロンコンサート〈クライネ・モーツァルト〉第96回例会  
Mozart-Kammerorchester 189. Regulärkonzert / Eine kleine Mozartmusik  
2019年7月4日(木)午後7時●兵庫県芸術文化センター 小ホール

**モーツァルト**／Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)  
ディヴェルティメント ヘ長調 K.138  
Divertimento in F major K.138

- I. Allegro
- II. Andante
- III. Presto

**サン＝サーンス**／Camille Saint-Saëns (1835-1921)

組曲《動物の謝肉祭》(原曲室内楽版)\*

Le Carnaval des Animaux (Original Chamber Music Version)\*

- 1. 序奏と堂々たるライオンの行進 Introduction et Marche royale du Lion
- 2. 雌鶏と雄鶏 Poules et Coqs
- 3. 驃馬(敏捷な動物) Hémiones (Animaux véloces)
- 4. 亀 Tortues
- 5. 象 L'Éléphant
- 6. カンガルー Kangourous
- 7. 水族館 Aquarium
- 8. 耳の長い紳士 Personnages à longues oreilles
- 9. 森の奥のかっこう Le Coucou du fond des bois
- 10. 大きな鳥籠 Volière
- 11. ピアニスト Pianistes
- 12. 化石 Fossiles
- 13. 白鳥 Le Cygne
- 14. 終曲 Final

\* \* \*

**ショパン**／Frédéric Chopin (1810-1849)

ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調(ピアノ六重奏版)\*\*

Piano Concerto No.1 in E minor op.11 (Piano sextet version)\*\*

- I. Allegro maestoso. Risoluto
- II. Romance : Larghetto
- III. Rondo : Vivace

ピアノ：堀 茜\*、辰 玲奈\*、田中 紀子\*\*／Piano：Akane Hori\*、Rena Tatsu\*、Noriko Tanaka\*\*

ヴァイオリン：永ノ尾文江、中川 敦史／Violine：Fumie Eino, Atsushi Nakagawa

ヴィオラ：佐份利 祐子／Viola：Yuko Saburi

チェロ：日野 俊介／Violoncello：Shunsuke Hino

コントラバス：南出 信一／Contrabass：Shinichi Minamide

フルート：大江 浩志／Flute：Hiroshi Oe

クラリネット：高橋 博／Clarinet：Hiroshi Takahashi

パーカッション：泉 純太郎／Percussion：Juntaro Izumi

お話：門 良一／Commentater：Ryoichi Kado

## ■モーツァルト:ディヴェルティメント

へ長調 K.138

モーツァルトはディヴェルティメントと題された作品を非常に多く作曲しており、楽章数、楽器編成ともに変化が多く、定まった形式はないようである。この曲は二長調 K.136、変ロ長調 K.137の同じくディヴェルティメントという名の曲とともに同じ楽譜に書かれており、1773年ザルツブルクでの作品とされる。ディヴェルティメントという表題は他人の手で書かれており、弦楽四重奏用か弦楽合奏用かも不明である。この3曲のセットはモーツァルトの作品の中でもよく知られており、頻繁に演奏されている。

## ■サン=サーンス:組曲《動物の謝肉祭》

この曲はサン=サーンスが友人のチェロ奏者、ブルークの催す謝肉祭の音楽会のために書いたものです。その音楽会は親しい音楽家たちが集まって合奏を楽しむプライベートなものでした。この曲は大変評判となり、続いて2回のいずれも非公開のコンサートで演奏されました。最後のものはちょうどパリにいたリストの強い希望によるものでした。しかしサン=サーンスはこれ以後、この曲の演奏を禁じてしまいます。その理由はおそらく、音楽家の内輪の集まりのためのものであること、そしてこれから聴いていただくように他の作曲家の作品が借用されパロディ化されていることにあるでしょう。しかしサン=サーンスの死後、あらためて公開初演されてからは広く愛好される名曲になったことはご存じの通りです。

### 1. 序奏と堂々たるライオンの行進

動物の王様、ライオンの堂々とした行進です。弦楽器の低温でライオンの咆哮が表されています。

### 2. 雌鶏と雄鶏

餌をついばむ雌鶏の様子、これはフランスの先輩作曲家、ラモーのクラブサン曲から取られています。ときどき雄鶏の時を告げる鳴き声が入ります。

### 3. 騾馬(敏捷な動物)

ピアノの速い動きで野生の騾馬の敏捷性が表現されています。

### 4. 亀

眠くなるようなピアノの伴奏に乗って、どこかで聴いたことのあるメロディが弦楽器のユニゾンで物憂げに演奏されます。そう、オッフェンバックのあの《天国と地獄》のカンカン踊りのメロディです。華やかでスピーディーな元の音楽が一変していて愉快ですね。

### 5. 象

ワルツのリズムに乗って象が躍る様子がコントラバスによって演奏されます。地響きが聴こえてきそうです。途中でやはりフランスの先輩音楽家、ベルリオーズの《ファウストの劫罰》の《妖精の踊り》の主題や、メンデルスゾーンの《真夏の夜の夢》の中の一節が使われており、皮肉なパロディとなっています。

### 6. カンガルー

ぴよんぴよん跳ねるカンガルーの様子がピアノの二重奏でユーモラスに表現されています。

## 7. 水族館

水槽の中を優雅に泳ぐ魚が描かれた、幻想的な音楽です。フルートとグロッケンシュピール(鉄琴)が使われています。

## 8. 耳の長い紳士

耳の長い紳士とはおそらく兎のことでしょう。ヴァイオリンの跳躍するような音型によって表されます。

## 9. 森の奥のかっこう

ピアノによって深い森が表現され、遠くにかっこうの音が聴こえます。これは「舞台裏で演奏するように」との指定があるクラリネットによって奏されます。

## 10. 大きな鳥籠

鳥の鳴き声をフルートが演奏します。弦楽器やピアノによっていろいろな鳥の鳴き声や羽ばたきが描かれます。

## 11. ピアニスト

なんとピアニストが動物たちの仲間に入られています。毎日へたくそな音階ばかり練習するピアニストは近所迷惑な動物かもしれませんね。サン=サーンスは「初心者のように弾く」よう指定しています。

## 12. 化石

つづいてこんどは「化石」の登場です。死んだ動物が出てきます。ここではサン=サーンス自身の作品《死の舞踏》の主題が木琴で演奏されます。骸骨のカタカタいう音です。そして古いフランス民謡も出てきます。モーツァルトも使った民謡「ああ お母さん、聞いて」です。これは「キラキラ星」と言った方が皆さんおわかりでしょう。ロッシェニのオペラ「セビリヤの理髪師」の有

名なアリアの一節も出てきます。これは「化石のように古臭い」という意味でしょうか。

## 13. 白鳥

最も有名な「白鳥」です。2台のピアノを従えてチェロが朗々と美しいメロディを演奏します。謝肉祭の音楽会の主催者のチェリストのために、サン=サーンスはとっておきの音楽を提供しました。

## 14. 終曲

いままで登場した動物たちが勢ぞろいするのはなやかなフィナーレです。

\*1998年第84回定期演奏会のトーク解説の原稿を流用

## ■ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調

(ピアノ六重奏版)

ショパンはピアノ協奏曲を2曲書いているが、この第1番の方が圧倒的によく演奏され、またよく聴かれているといえよう。今日演奏する形は通常のオーケストラ伴奏ではなく、オーケストラの部分コントラバスを含む弦楽五重奏で演奏するものである。ショパンがこの作品を発表する際、試演会としてこの編成で演奏したことがあり得るとの想定がもとになっている。オーケストラ伴奏版については、ショパンのオーケストレーションが貧弱であるとの指摘がなされてきたが、この弦楽五重奏の伴奏によるピアノ六重奏版の方が、ショパンのイメージの原型に近いのではないかと思われる。



*Akane Hori*

**堀 茜●ピアノ**

相愛大学付属音楽教室を経て、相愛大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。神戸大学大学院人間発達環境学研究科修了。卒業演奏会、宝塚ベガ新人演奏会、沙羅の木会新人演奏会、「デュオフェスティバル」、「東日本震災復興コンサート」等に出演。ラジオパーソナリティー、CM、雑誌等でも活動中。神戸市観光親善大使スマイル神戸。



*Rena Tatsu*

**辰 玲奈●ピアノ**

相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学専攻科修了。徳末悦子、小山るみ、小坂圭太の各氏に師事。奈良フィルハーモニー、沙羅の木オーケストラ、アルカディア室内管弦楽団とのコンチェルトや、室内楽ではウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団と共演。現在、相愛附属音楽教室、追手門学院小学校各講師。NPO法人関西音楽人クラブ会員。



*Noriko Tanaka*

**田中 紀子●ピアノ**

大阪音楽大学大学院修了。NHK洋楽オーディション合格、NHK-FMに出演。大阪、宝塚、神戸、岡山でリサイタル開催。オーケストラとの協演、ピアノデュオの活動の他、歌曲の伴奏も数多い。現在、大阪音楽大学講師。日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、神戸音楽家協会、神戸芸術文化会議、兵庫県音楽活動推進会議、NPO法人関西音楽人クラブ各会員。

**《今後の演奏会の予定》**

◆第190回定期演奏会◆

2019年10月5日(土)午後2時  
いずみホール

〈フランス音楽特集〉

フォーレ：  
組曲《マスクとベルガマスク》序曲  
サン＝サーンス：  
ピアノ協奏曲第2番ト短調  
イベル：  
フルート協奏曲  
ビゼー：  
交響曲ハ長調

ピアノ：山田富士子  
フルート：谷口美香  
指揮：門 良一

◆第191回定期演奏会◆

2019年11月30日(土)午後2時  
天満教会

定期サロンコンサート  
〈クライネ・モーツァルト〉第97回例会  
〈創立50周年記念シリーズ〉第2回

モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク  
ラヴェル：ピアノ三重奏曲  
モーツァルト：アダージョとフーガ  
フォーレ：ピアノ五重奏曲第1番

ピアノ：犬伏純子  
ヴァイオリン：永ノ尾文江、遠藤留美子  
ヴィオラ：佐份利祐子  
チェロ：日野 俊介  
お話：門 良一

◆第192回定期演奏会◆

2020年1月13日(月祝)午後3時  
いずみホール

〈創立50周年記念シリーズ〉第3回  
モーツァルト《魔笛》再々演

ソプラノ：四方典子、鬼一薫、西田真由子  
津山和代、櫻井孝子、朴華蓮、山田千尋  
メゾ・ソプラノ：山田愛子、麻生真弓  
テノール：諏訪部匡司、橋本恵史  
西垣俊朗、近藤達夫  
バリトン：西尾岳史、西垣俊紘、萩原寛明  
バス：松下雅人  
合唱：モーツァルト記念合唱  
合唱指揮：益子 務  
指揮：門 良一

